

衆議院議員 前原 誠司 略歴

1962年生まれ 京都大学法学部（国際政治 高坂正堯ゼミ）卒

1987年 財団法人松下政経塾 第8期生として入塾

1991年 京都府議会議員選挙にて28歳で初当選

1993年 第40回衆議院議員総選挙において初当選

以降連続10期当選

民主党代表、国土交通大臣、外務大臣、民主党政調会長、国家戦略担当大臣、海洋政策担当大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策、科学技術政策、原子力行政、宇宙政策担当）、民進党代表を歴任
現在、党代表代行、党安全保障調査会会長

ホームページ <http://www.maehara21.com>

Twitter <https://twitter.com/Maehara2016>

Facebook <https://www.facebook.com/seiji.maehara21>

Instagram https://www.instagram.com/seiji_maehara.official

YouTube <https://www.youtube.com/@official-dj1tp>

日本の「大転換」のために、政策本位で野党結集を進め、政権交代への道筋を作ります。

このたび、私は国民民主党代表選挙への立候補を決意いたしました。私は、国民民主党、野党、そして日本の現状に危機感を持っています。特に国民民主党の現状を考えたとき、前回の参議院選挙で2名の議席を失い、2%程度の政党支持率が続くなど、与野党を超えての是々非々路線が結果として、自民党を利する結果になってしまっています。

民主主義は、政権の選択肢がなければなりません。

日本の凋落が止まらない中、自民党に代わる「中道保守の改革勢力」が結集して政権交代を果たし、日本の「大転換」を果たさなければならないとの思いは強くなる一方です。

今こそ「政策本位で『非自民・非共産』の野党協力・野党結集を進め、政権交代への道筋を作りたい」と思います。

今回、私は将来の社会像を示し、政策の軸を立て、党の目指すべき方向を明らかにします。日本を変えるために、国民民主党を、野党を強くしなければなりません。

これまで三十年間にわたり、国政の場において経験させて頂いた全てを懸け、このたびの代表選挙に臨ませて頂く覚悟です。

私、前原誠司への力強いご支援とご指導ご鞭撻を衷心よりお願い申し上げます、決意のご挨拶とさせていただきます。

前原 誠司

まえはら せいじ

基本姿勢

1. 自民党と対峙する、政権交代を目指す改革政党としての、国民民主党の立場を明確にします。
2. 「All for All」の理念のもと、今の「自己責任型の社会」とは異なる新たな将来の社会像を明確に示します。
3. 国民民主党の立場と目指す社会像を明確にしたうえで、選挙での全候補者の当選に向けて徹底的に取り組み、国民に期待される国民民主党を作ります。
4. 政策本位で『非自民・非共産』の野党協力・野党結集を進め、政権交代への道筋を作ります。

基本理念

1. 繁栄を通じて平和と幸福を追求します。
2. 勤労者、消費者、生活者、納税者の立場に立った政治を行います。
3. 「All for All(みんながみんなのために)」の理念の下、ベーシックサービスの充実を通じて、安心社会を実現します。

基本政策

「All for All(みんながみんなのために)」

「All for All(みんながみんなのために)」の理念の下、ベーシックサービスの充実を通じて、安心社会を実現します。負担と受益の関係を明確にして、財源論にも正面から取り組み、将来世代への責任を果たす政治を行います。

人づくりこそ国づくり

少なくとも教育予算を倍増し、「教育の無償化」「奨学金の返済免除」を実現します。

給料を上げる

最低賃金の引き上げ、いわゆる「年収の壁」の解消、リカレント教育・リスキリングなどの公的支援を充実させるなど、賃金アップにつながる政策を実行します。

自分の国は自分で守る

自衛力の強化に加え、エネルギー自給率と食料自給率の向上で、安全保障を推進します。

- ▶ エネルギー自給率の向上とカーボンニュートラルを見据えたエネルギーのベストミックスを追求します。
- ▶ 防災・災害対策を進め、自然災害に強い国土形成を目指します。
- ▶ 農家への戸別所得補償制度を復活させるなど、食料自給率の向上に努めます。
- ▶ 憲法改正を実現させます(まずは緊急事態条項の創設)。
- ▶ 国会議員定数の少なくとも2割を削減します。
- ▶ 消費税の軽減税率及びインボイス制度は廃止し、新たに給付付き税額控除制度を創設します。
- ▶ 外国為替基金特別会計(外為特会)の一部基金化など、政府資産(GPIFや大学ファンド)の運用強化を図り、新たな財源論に一石を投じます。
- ▶ 教育、就職、賃金、経営、政治参加など、あらゆるライフステージと政策における男女格差をなくします。

1962年生まれ 京都大学法学部卒(国際政治 高坂正堯ゼミ)
略歴 松下政経塾、京都府議を経て1993年 第40回衆議院議員総選挙初当選(連続10期)
民主党代表、国交相、外務相、国家戦略担当相、内閣府特命担当相、民進党代表等を歴任
現在、党代表代行・安全保障調査会会長。



All for All

みんながみんなのために

日本の「大転換」のために、政策本意で野党結集を進め、**政権交代**への道筋をつくります。

このたび、私は国民民主党代表選挙への立候補を決意しました。

推薦人になっていただいた議員の皆様、陰に陽に応援してくださる議員の皆様、そして党员、サポーターの皆様にご心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

今回、私が立候補を決意したのは、主に以下の理由からです。

- ①日本の凋落が止まらない中、自民党に代わる「中道保守の改革勢力」が結集して政権交代を果たし、日本の「大転換」を果たさなければならないとの強い思い
- ②国民民主党の現状を考えたとき、前回の参議院選挙で2名の議席を失い、2%程度の政党支持率が続き、与野党越えての是々非々路線が結果として、自民党を利する結果になっていること

民主主義は、政権の選択肢がなければなりません。今こそ「政策本位で『非自民・非共産』の野党協力・野党結集を進め、政権交代への道筋を作りたい」と思います。

今回、私は将来の社会像を示し、政策の軸を立て、党の目指すべき方向を明らかにします。日本を変えるために、国民民主党を、野党を強くしなければなりません。

これまで三十年間にわたり、国政の場において経験させて頂いた全てを懸け、このたびの代表選挙に望ませて頂く覚悟です。

私、前原誠司への力強いご支援とご指導ご鞭撻を衷心よりお願い申し上げます、決意のご挨拶とさせていただきます。

衆議院議員

前原誠司

■ 基本姿勢

- ① 現自公政権との個別法案などでの都度の協力の可能性は排除しませんが、自民党に対峙し、政権交代による改革政治で日本再興に取り組む政党としての国民民主党の立場を明確にします。
- ② 勤労者、消費者、生活者、納税者の立場に立つ政党として、「All for All（みんながみんなのために）」の理念のもと、所得制限なしの教育の完全無償化やベーシックサービスの充実を通じた安心社会の実現という、現在の自己責任型の社会とは異なる新たな目指すべき社会像を明確に示します。
- ③ そのうえで、改めて国民民主党の党勢拡大に王道で取り組みます。あらゆる選挙に挑戦する候補者とその家族などの関係者を大切にし、全員の当選に向けて、言葉だけではなく行動で責任を果たします。国政選挙においても、選挙区での勝利に向けて徹底的に取り組めます。
- ④ 国民民主党の掲げる理念の実現、そして政権交代による改革政治の実現と日本再興に向けて、国民民主党と基本理念を同じくする『非自民・非共産』の他党との政策本位での協力、そして結集を丁寧に模索し実現することで、政権交代とそれによる日本の「大転換」への道筋を作ります。

■ 基本理念

- 繁栄を通じて平和と幸福を追求します。
- 勤労者、消費者、生活者、納税者の立場に立った政治を行います。
- 「All for All（みんながみんなのために）」の理念の下、ベーシックサービスの充実を通じて、安心社会を実現します。

■ 基本政策

- 「All for All (みんながみんなのために)」～ベーシックサービスの充実を通じて、安心社会を実現します。負担と受益の関係を明確にして、財源論にも正面から取り組み、将来世代への責任を果たす政治を行います。
- 人づくりこそ国づくり～少なくとも教育予算を倍増し、「教育の無償化」「奨学金の返済免除」を実現します。
- 給料を上げる～最低賃金の引き上げ、いわゆる「年収の壁」の解消、リカレント教育・リスキリングなどの公的支援を充実させるなど、賃金アップにつながる政策を実行します。
- 自分の国は自分で守る～自衛力の強化に加え、エネルギー自給率と食料自給率の向上で、安全保障を推進します。
- エネルギー自給率の向上とカーボンニュートラルを見据えたエネルギーのベストミックスを追求します。
- 防災・災害対策を進め、自然災害に強い国土形成を目指します。
- 農家への戸別所得補償制度を復活させるなど、食料自給率の向上に努めます。
- 憲法改正を実現させます（まずは緊急事態条項の創設）。
- 国会議員定数の少なくとも2割を削減します。
- 消費税の軽減税率及びインボイス制度は廃止し、新たに給付付き税額控除制度を創設します。
- 外国為替資金特別会計（外為特会）の一部基金化など、政府資産（GPIFや大学ファンド）の運用強化を図り、新たな財源論に一石を投じます。
- 教育、就職、賃金、経営、政治参加など、あらゆるライフステージと政策における男女格差をなくします。

2023 国民民主党代表選挙 前原誠司推薦人

衆議院議員

斎藤 アレックス

鈴木 敦

長友 慎治

参議院議員

嘉田 由紀子

地方議員

隠塚 功（京都市議会）

酒井 常雄（京都府議会）

谷 健一（白山市議会）

森本 秀歳（松江市議会）